

広報 いまり

No.422



市民体カづくり大会でのハイキング

'89

藩窯公園で昼ごはん。子どもたちの元気な声が秘窯の里にこだましました。（関連記事9ページ）

4月

〈人口〉 男29,127人 女32,512人 計61,639人(前月比-19)〈世帯数〉 17,277世帯(3月1日現在)

ふるさと創生 いまり特色!!

あなたの アイデアで



「個性的なふるさと、魅力的なふるさと」を創るため、国が全国の市町村へ、一律1億円を交付することになりました。

市は、ふるさと創生1億円事業推進委員会やふるさとづくり伊万里120人会を発足させ、1億円の有効な使いみちについて検討をすすめています。

そして自慢できるふるさと創生を行うために、あなたにもそのアイデアを出していただきたいのです。これまでの考えや枠にとらわれず、自由な発想で、1億円を使ってみてください。

ほのほのとした幸せが感じられる伊万里…そんなふるさとを創ってみませんか。

自ら考え 自ら行う 地域づくり

現在、全国の市町村では、一村一品運動などによる村おこしやまちづくり、イベントの開催やリゾート開発など、何とか地方を浮揚させようという気運が高まっています。

国は、地域づくりの気運の盛り上がりをとらえて、「地方が知恵を出し、中央が支援する」

という、これまでとは異なった発想に基づいて、「自ら考え自ら行う地域づくり」事業を創設し、全国の市町村に一律1億円を交付することを決めました。「ふるさと創生」の起爆剤となるよう、市町村の自主的、主体的な地域づくりへの取り組みを支援しようというものです。

独創的・個性的な 事業を実施

1億円を使う事業は、昭和63年度と平成元年度の2か年で、継続的な事業となるものが期待されています。

63年度に2,000万円、平成元年度に8,000万円が交付されますが、市ではとりあえず2,000万円を「ふるさとづくり基金」に積み立て、残りの8,000万円とあわせて平成元年度に使うことにしています。

事業の内容は、それぞれの地域がもっている歴史や伝統、文化、産業などを生かし、独創的、個性的な地域づくりにつながる事業を実施することになっています。

●締め切り 4月13日 ●応募先 市企画課(☎232111 内線403)
か各町公民館

ふるさとづくり



わたしなら
こゝ使います。

例えば人材養成や 文化の振興

それでは、例えばどのようなふるさと創生が考えられるのでしょうか。国があえて示した例は次のようなものです。

- 人材育成 ●伝統文化の継承
- 村おこし ●国際交流 ●特産品の開発 ●福祉サービス
- 健康づくり ●生涯学習など

自ら考え自ら行う事業ですから、もちろんこれらにとらわれることなく、広い範囲で考えていきたいと思っています。

市民みんなで ふるさとづくり

市は、ふるさと創生の1億円を有効に活用し、ほかに見られないすばらしいふるさとづくりを、平成元年という記念すべき年に新しくスタートさせるため、市役所内部に「ふるさと創生1億円事業推進委員会」を、また各町や団体などからの市民の代表でつくる「ふるさとづくり伊万里120人会」を設け、検討を

重ねています。

そして、市民の皆さんにもアイデアを出していただき、市民全員が参加した「わたしたちみんなのふるさとづくり」を進めていきたいと考えています。

アイデアは、各戸に配布しました所定の用紙か、はがきまたは手紙で、各町の公民館か市企画課へお寄せください。締め切りは4月13日(木)です。

ふるさとづくりについての問い合わせは、市企画課へお願いします。(☎232111 内線403)



兵庫県の
津名町では
1億円の
金塊に

≡ 57年度から伊万里版ふるさと創生 ≡

市は寄付金を積み立てて「ふるさとづくり基金」を設置し、昭和57年度から各町で行われている地域づくり事業に対し、奨励金を出しています。

国の施策を先取りした「ミニふるさと創生」と言えるもので、該当する事業は、

- ①地域についての学習研究活動
- ②地域づくりのための振興計画

ふるさと創生論とは

竹下首相が打ち出した国土づくりに関する理論。

すべての機能が東京に集中している現状を改め、地方の知恵と情熱を生かし、しっかりとした生活と活動の本拠となる「ふるさと創生」の実現が必要だというもの。多極分散型の国土開発、交通網・情報通信網の充実、住宅の充実、土地対策、1省庁1機関の地方分散、地方でのイベント開催、快適な都市環境づくりなどが提唱されています。

策定事業

③地域づくり活動事業などです。奨励金の額は事業費の2分の1以内で、①と②は5万円、③は10万円が限度額となっています。

これまで「ふるさとの歴史研究」や「伝統行事の復活」、「教育キャンプ場整備」など37の事業に対して奨励金を交付し、地域づくりを支援してきました。

平成元年第1回定例市議会

時代づくりへの行動をより鮮明に 大型事業の推進と特色づくり

わが国は、激動の昭和の時代から安定を願う平成の時代へと幕を開け、間近に控えた21世紀という未知の世界への挑戦に向かって、新たな歴史の一步を踏み始めました。私は、この大いなる歴史の節目とも言うべき転換期に立ち、さらに時代づくりへの行動をより鮮明にし、未来につなぐ希望に満ちたニューフロンティアの道程を築いていきたいと念願しています。

国は、内政上の最重要課題として、自ら考え自ら行動する地域づくり—ふるさと創生を訴え、地方独自のふるさとづくりへの取り組みを支援し、地域の活性化を求めているところです。

ニューいまりの 飛躍的展開を

私は、新時代に先駆けたニューエポック（新しい時代づくり）プロジェクトの円滑な推進に一層の意をもちいるとともに、あらゆる面に特色を浮き彫りにし、伊万里が焼き物の積出港として世界にその名を残した歴史の上に、さらに新しい火をともしニューいまりの飛躍的展開をしていきたいと考えています。

昨年は、大型プロジェクトが次々と具体化に向けて花開き、さらに日本一のブランド特産品

などの普及によって、伊万里市の名声は急上昇しています。

この好機をとらえ、さらに特色を明確にし、他に比類なきものを築き上げ、“世界に通じる伊万里市、の実現にこん身の努力を傾けることが、これからの伊万里市の使命であります。

伊万里・オランダ フェスティバル'89

まず情報化では、伊万里テレピア計画により、従来のネットワークやシステム化に加えて新たな情報活動を本格的に展開したいと思います。

国際化では、中国さらには韓国とのトライアングル交易の実現に努めます。また今年、日蘭（オランダ）修好 380周年に当たり、地域活性化をねらいとしたイベントを実施したいと考えています。

海洋性リフレッシュ 村の具体化

伊万里湾の開発では、環シナ海の交易拠点と位置付け、工業港の整備に加え、商業港としての機能を復活させる条件整備に努めます。さらに「海洋性リフレッシュ村」構想の具体化に努

竹内市長が所信表明

め、あわせて学術研究技術の集積をめざし、佐賀大学の海洋資源エネルギー研究所等の誘致を積極的に働きかけます。

国営総合農地開発 農道離着陸場の 整備促進

次に農業では、21世紀の佐賀農業モデル地区としての確立をめざし、国営総合農地開発事業や農道離着陸場の整備に加え、新農村情報システムの構築とフライト・アンド・ブランド作戦の展開による足腰の強い産業として自立し得る生産基盤の整備に努めます。

高齢化では、「長寿社会対策推進計画」の策定、新たな社会参加の場を創出する「シルバー人材センター」の設立など、高齢化社会への体制づくりに力を注ぎます。

このように情報化、国際化、ハイテク化、高齢化などの新しい時代への対応を図りながら、創意工夫を基軸とした個性ある地域づくりを基本として、魅力ある伊万里湾中核都市をめざし、活力と創造に満ちたふるさとづくりと人づくりに市政の重点を置き、積極的に施策を展開してまいります。

消費税関連の

使用料条例の一部を継続審査

平成元年第1回定例市議会が、3月7日から27日まで21日間開かれました。開会初日は、竹内市長が市政運営に当たっての所信表明や新年度予算議案などの提案理由を述べました。

今議会に提出された議案は、条例議案25件、予算議案23件、一般議案10件、合わせて58件。

条例議案では、消費税が新設されたことに伴い、施設の使用料や水道料金などを改定する条例議案10件(22条例)が提出されました。改正の内容は、現行の使用料や料金に、消費税の税率3%相当額を加えた使用料にするもので、4月1日から施行する内容になっています。

審議の結果、予算議案、一般議案など48議案が原案のとおり可決されました。また消費税関連の使用料改正条例議案では、原案のとおり可決されたのが、

- 市民会館使用料
 - 水道(簡易水道含む)、工業用水道使用料
 - ごみ処理(特別処理)、し尿汲み取り料
 - 市民病院の特設病室使用料
 - 漁港施設占有料
 - 市営駐車場使用料
 - 公有水面使用料、産物採取料
 - 道路占有料
 - 都市公園、下水道使用料
- で、次の議案は継続審査となりました。
- 老人福祉センター、老人憩いの家使用料
 - 霊きゅう車、火葬場使用料
 - 大川内山キャンプ場使用料
 - 伊万里・有田焼伝統産業会館
 - 小・中学校施設、公民館
 - 国見台公園の体育施設使用料
 - 散弾銃射撃場使用料
- ※詳しいことは、市役所だよりでお知らせします。

南波多地区に水道完成



◎通水式会場の南波多配水池

南波多町と黒川町東部地区の一部、約800戸に給水する水道施設が完成。2月25日、南波多公民館で落成式が行われました。

工事は、水道第8次拡張事業として昭和60年度から4か年の継続事業で行われ、総事業費は12億7,800万円。これまで生活用水を井戸水や湧き水に頼ってきた同地区にとって待望の水道の完成に、野中東太郎水道促進期成会会長は「水不足の不安もなく生活できます」と喜びのあいさつをしました。



市制・町村制は明治二十二年に施行されたので今年はそのからちょうど百年になり、佐賀市など市制施行百周年の記念行事が盛りだくさんに考えられている。それはともかく百年といえ、一つの節目であって、地方自治とはいいいながら、まだに中央集権の抜けない日本の行政は、こころで一大転換が計られねばならない。制度そのものの抜本的改革は容易でないので、せめて東京一点集中傾向に少しも歯止めをかけようと、政府が「ふるさと創生」で全国三千有余の市町村に一律一億円を交付税から配分することになったが、これまでにない画期的なことといってもよい。

昭和六十三年度が二千万円、平成元年度に八千万円が交付されるが、国からのお金はその使途に細かな制約がついてやまぬ。この「ふるさと交付金」は、ふるさと創生に役立てば何に使ってもよく、ただ事後報告はきちっとしなければならぬ。この事業は、地方が知恵を出して国が支援する地方主導の地域づくりだから、単に市町村の内部の取り組みで終わってしまうことなく、広く住民の参加のもとに事業を考えることが大切で、伊万里市では市民の皆さんからアイデアを募集するとともに「ふるさとづくり伊万里百二十人会」をつくって検討していただくことにしている。もともと伊万里市では数年前から「ふるさとづくり基金」を設けて、その果実の利子でささやかながら各町の特色づくりを支援してきた。また若い人たちは、自分たちの手でふるさとづくりをしようとして「伊万里アクティブ21」を結成してすでに実働に移っておられる。今後の一億円による「ふるさとづくり」は全市町村の知恵くらべといってもよく、全市民のファイトをもって全市町村の先頭集団に立たなければならぬ。

(竹内)



★わが家のPOBPO★

江崎 真美ちゃん

(10か月)

光秋・紀子さんの長女

“まみちゃん”と呼ぶと返事をしてくれます。つかまり立ちも上手になりました。早くお兄ちゃんといっしょにお外で遊びたいな! (黒川町小黒川)

ほほえみひろは

この広場はみなさんのページです。あなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

適確な救命リレー

おぼれた幼児助かる

2月18日、自宅の浴槽でおぼれ、心臓が止まっていた1歳2か月になる幼児が、消防本署～東分署～山元外科病院の迅速、適確な連携プレーで一命を取りとめました。

救助されたのは大川町立川、田代ケイ子さん(34)の次男慎吾くん。あお向けに浮いている慎吾くんを発見したケイ子さんからの119番通報を、14時55分に受けた山口幸人消防士長(47)は、「子どもを助けて」と叫ぶお母さんに「口移しで息を吹き込んで」と人口呼吸を指示。同

時に東分署へ連絡。通報から9分後に東分署から福田忠成さん(41)と高木勝彦さん(35)、小松一寿さん(27)の救急車が到着。3人は顔面真っ青で、両目が開き、心臓が止まっていた慎吾くんは、ケイ子さんに代わって心臓マッサージと人口呼吸を続け、慎吾くんは5分後にやっと自分の力で息を吐き出しました。15時40分には病院から山元博医長が駆けつけ、点滴や酸素吸入をしながら病院へ急行しましたが、着いた時には血圧が40でショック状態だったそうです。



①助かった慎吾くんと母親のケイ子さん

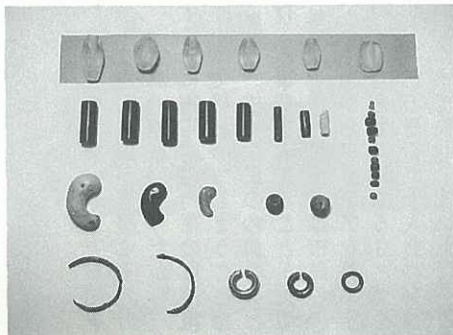
はっきり意識が戻ったのは3日目になってからで、心配された脳障害もなく、慎吾くんは3月11日元気に退院しました。

母親のケイ子さんは「指示に従って必死で人口呼吸をやりました。助かったのは皆さんのおかげです」と感謝していました。

郷土の文化財

〈指定文化財 No.25〉

銭亀古墳



銭亀古墳は、東山代町長浜にある標高16mの日尾丘陵の東斜面に位置した、横穴石室を埋葬施設とする直径15mほどの小円墳です。昭和46年、日尾工業団地造成に伴う事前調査で発見されたもので、出土品は市歴史民俗資料館に保存されています。

石室内からは、メノウ製勾玉や碧玉製管玉、ガラス玉、水晶製切子玉、金銀製の耳環、青銅製の腕輪などの装身具と、鉄鏃、鉄刀などの道具が出土し、羨道や周溝からは、須恵器の杯、平瓶、大型甕や土師器の高台付短頸壺などの容器が出土しています。

これらの出土品から、古墳は6世紀末に築造され、少なくとも3人の被葬者が埋葬されていたと考えられています。(市重要有形文化財 48.7.20指定)

あの人この人 No76
心身障害者文化祭で
市長賞を受賞した
原田 一敏さん(39)



リハビリで始めたビータータッチ手芸(小さなビーズ玉を敷き詰めた絵画)の「ボタン」の作品で市長賞を受賞。

建築大工をしていた原田さんは、33歳になったばかりの57年11月、解体中の屋根から3m下へ転落し、頸髄損傷による両上下肢の機能全廃で車イス生活。

原田さんは、「7歳～3歳とまだ幼い3人の子供を思うと、人生に絶望した。入院4か月は体も動かず、半年ぐらいのときが精神的にいちばんつらく、変なことも考えた。家内や周りの障害者の人たちの励ましやリハ

ビリで少しずつ手先も動くようになると、欲が出てきて何とか生きようという気持ちになった」と当時を振り返ります。

2年4か月の入院生活を終えて帰宅。帰ってからもリハビリの毎日で、天気の良い時は、車イスで家の前の道路をいったりきたりしたそうです。すっかり元気を取り戻した原田さんは、「最初は勇気があるけど、もっと外に出かけることが必要。私もできるだけ出かけていますが、そうすることで障害者への理解が得られると思います」と話されました。



前田 真由美さん(23)

立花町西円蔵寺(魚座、AB型)

7月から内科・小児科の受け付け事務として始動開始です。

子どもには目尻を下げる方なので、小児科で喜んでます。余暇は、もっぱら本や車、料理がお相手。気付いたら福岡まで運転してたりして…。文庫本が約200冊、料理は和食ならOKよ。

男性は正味で勝負。心の許容量の大きな人がすてきだなー。

四季の詩

園児らの大きな返事チューリップ
松島町 小島 春蘭

陽春のさ庭のみどり清々し
紅もまじりて吾も息づく
立花町 前田 富子



心身障害者(児)文化祭
趣味の作品 300点を展示



市身体障害者福祉協会、心身障害児(者)父母の会、伊万里西松浦郡手をつなぐ親の会が主催する第6回伊万里市心身障害者(児)文化祭が2月25日～28日まで4日間開かれました。

趣味の作品展(会場、伊万里玉屋)には、障害のハンディを乗り越えて丹念につくられた手

芸や木工品、焼き物、図画など約300点が出品されました。このほか県立伊万里養護学校、市内小中学校の特殊学級の児童、生徒の作品もあり、会場を訪れた約2,000人の人たちが熱心に鑑賞しました。26日には、伊万里公民館で体験発表や講演会などがありました。

第1回いまりさくらカーニバル

桜の花もほころびかけた3月20日から22日までの3日間、第1回いまりさくらカーニバルが駅通りや本町、銀天街、いすい通りで行われ、約2万人の人出でにぎわいました。

さくらカーニバルは、商店町の活性化を目指し、商店街連合会や市観光協会、商工会議所などが主催して実施したもので、いすい通りには金魚すくいやいか焼などの出店が並び、東新町の駐車場では茶市や陶器市、植木市などが行われました。

また、21日の春分の日には、猿まわしやバナナの叩き売り、ミニSLが各会場で行われ、家族連れで人垣ができるほどのにぎわいでした。



いすい通りには出店が並び、お供日のようでした



バナナの叩き売りに大勢の人垣ができました



久しぶりの金魚すくい

初めてのいまり公民館まつり

「連帯感をもった明るい町づくりをめざして」第1回いまり公民館まつりが3月5日、同公民館と松島町公民館で行われました。

伊万里公民館は、伊万里町民待望の施設として去年3月に完成。今回が初めての公民館まつりとあっ



全員80歳以上の天寿会の踊り

て約800人が詰めかけ、全員80歳以上の天寿会の民謡「黒田の殿さん」やファーストレディクラブのリズムダンスなど27種目のバラエティーに富んだ芸能発表を楽しみました。作品展にも410人から500点のすばらしい作品が寄せられました。公民館前の広場には綿菓子やうどんなどの食べ物コーナーやお菓子や食品加工品などの物産展も設けられにぎわいました。

春を感じて市民体力づくり

3月12日、第13回市民体力づくり大会が国見台運動公園を主会場に開かれ、家族連れや子ども会、仲よしグループなど700人が参加しました。

ハイキング



①ドレミの架け橋を渡り、「サア藩窯公園めぐし出発ダー」



福田善四郎さん（立花台2丁目、63）、好さん（64）夫婦と、途中でいっしょになった子どもたち

毎日立花台～国見台公園を往復しています。健康のため買い物なども歩いていくようにしています。このくらいでは疲れませんよ。気持ちがいいですね。

当日は、風もなく穏やかな天気に恵まれ、そこまでやってきた春を肌を感じながらハイキングやグランドゴルフなどを楽しみました。



①おばあちゃんも参加したリズムダンス



①「ヤッター！」優勝チームの黒川町椿原の皆さん



①久しぶりにお父さんと楽しい休日

4月のスポーツ

23日（日）

- 黒川町民体育祭
8時20分 黒川小学校

早朝ソフト大会

参加チーム募集

- 資格 市内在住者または市内の事業所に勤務する社会人
 - 編成 1チーム25人以内
 - 参加料 1チーム5,000円
 - 受付期間 4月18、19、20日の3日間で、18時～20時まで下記の申込先で受け付けます。
 - 申込先 国見台球技場横のソフトボール協会事務局
- ※申込書は、各町公民館に準備

オリエンテーリング



渡辺きよめさん（川東、39）とふくみちゃん（5）

家族4人で今年初めて参加した渡辺さん一家。ご主人の清さん、長女のみゆきちゃんと2班に分かれて競争です。



まぼろしの炭鉱展



市歴史民俗資料館で、「まぼろしの炭鉱展」が開かれています。会期は、5月30日まで。

伊万里の炭鉱は、最盛期の昭和26年には、12の炭鉱に従業員5,300人。市民生活や産業、経済を支えた石炭産業は、エネルギー革命で斜陽化し、38年に久原、向山など7炭鉱が閉山、最後まで残った立川炭鉱も45年に閉山。200余年に及んだ石炭の歴史は幕を閉じました。

炭鉱展は、大川町東田代の石炭史研究者・坪内安衛さん(63)が収集した資料を中心に展示。江戸時代の炭鉱絵図や伊万里湾域における石炭産業の盛衰史の文献や写真のほか、カルイテボ、カンテラなどの採掘道具も展示されています。市民生活を支えた炭鉱の歴史を是非一度ご覧ください。

2月27日、大坪町下古賀の「伊万里こすもす村・今岳福祉作業所」(松尾晃生所長)で、焼き物窯の火入れ式がありました。ガス、まき兼用の窯(0.4坪)は、創立20周年を迎えた伊万里ライオンズクラブ(森友宏会長、72人)から贈られた浄財120万円で造られたものです。

同作業所は、今岳中腹の約3万坪を切り開いて昨年7月に開所。現在11人の障害者が自宅から通って農作業や木工製品づくりの訓練に励んでいます。松尾所長は、「ボランティアや多くの人の善意に支えられてきました。こすもす村を障害者のユートピアにしたい」とお礼を述べられました。

今岳福祉作業所で窯火入れ式



シルバー人材センター設立



社団法人伊万里シルバー人材センターの設立総会が3月21日、大坪公民館で開かれ、定款の決定や役員を選出などが行われました。同センターはこのあと県の認可を受けて4月1日に発足、事業を開始することになります。

佐賀県は全国平均より10年、伊万里市は15年も早く高齢化社会を迎え、現在市内には60歳から74歳のお年寄りが約9,000人います。同センターは、急速に増え続ける高齢者が職業生活から直ちに引退生活に入るのではなく、長年の経験や能力を活用することによって臨時的、短期的な仕事を通じて社会活動に参加し、生きがいの充実を図ることを目的として設立されました。市では昭和49年度に高齢者事業団が発足し、実績を上げてきましたが、同センターはこの高齢者事業団を母体として設立されたものです。



大連市から縫製技術研修生

中国・大連市からの縫製技術研修生 崔 穎さん (31) と姚 晔梅さん (26) の歓迎交流会が、2月27日、市役所で開かれました。

縫製技術研修生の受け入れは、市が大連市との間で進めている友好交流事業の一つとして行われたもので、去年の太極拳指導者の受け入れに続く第二弾。2人は市内の婦人服縫製工場ベルベ（田中陽一郎社長）で1年間研修に励みます。

歓迎交流会では竹内市長が「故郷と同じ気持ちで楽しく過ごしてください。そして両市友好のきずなとなってください」とあいさつ。崔さんは「日本の先進的な技術をしっかり勉強したい」とこたえました。



市役所玄関前で、笑顔で歓迎に応える崔さん（左から2人目）と姚さん（同3人目）

MR 川東駅開業



松浦鉄道（株）西九州線の伊万里～金武間に新しく川東駅が完成し、3月11日、同駅で開業式が行われました。

伊万里市内では30年ぶりの新駅の設置で、地元住民が見守るなか川東保育園児鼓笛隊の演奏やテープカットなどで開業を祝い、竹内市長が、「第3セクターになって約1年がたちました。市民ひとりひとりが間接的なオーナー。末永くかわいがってください」とあいさつをしました。

また、到着した列車の乗務員に伊万里高校2年の 洲上佳代子さんから花束が贈呈され、伊万里農林2年の上野陽子さんが発車の合図をおくりました。洲上さんは、「三代橋（有田町）～川東と両方とも新駅を利用できるようになり、通学時間が35分も短くてすみます」と喜んでいました。

3月4日、市役所大会議室で伊万里市国際交流協会の設立総会が開かれました。

本市は、国際観光モデル地区や国際交流のまちづくり推進モデル都市の指定を受け、外国人観光客受け入れの条件整備や国際交流、特に中国との交流を進めていますが、さらに民間、市民、行政が一丸となって国際交流を推進するため、市民の団体として協会が設立されたものです。協会設立には44団体が参加。会長に竹内市長を選出し、役員や事業計画を決めたほか、計画、交流、イベントの3委員会を設け、交流事業を具体的に検討しながら国際交流のまちづくりを積極的に推進することになっています。

市民団体・国際交流協会設立



市税などの納め忘れはありませんか

昭和63年度分の集合税（市・県民税、固定資産税、国民健康保険税）の納期は2月28日、保育料、住宅使用料は3月31日で終わりましたが、納め忘れや納付書を失くしてまだ納付されていない方は、早めに市税務課で納めてください。

国民健康保険税を滞納されると、保険証にかえて資格証明書を交付されることがありますので、もう一度お手持ちの領収書をお確かめください。

※納税の問い合わせは、市税務

課徴税対策室まで。

(☎2111 内線 235～237)

軽自動車税は4月中に

4月は軽自動車税の納付月です。4月1日現在、軽自動車を所有している人が納税義務者です。納付書は4月中旬に発送します。なお、身体障害者の方などは減免が受けられます。

※詳しいことは、市税務課管理係へお尋ねください。

(☎2111 内線 233、242)

国民健康保険証は 変わりません

お手持ちの保険証は、9月30日まで使えます。汚したり、破ったりしないよう、大切にお使いください。⑤保険証は従来どおり、4月1日以降の在学証明書を持参のうえ申請してください。卒業の場合は返還の届出を。※問い合わせは、市民課保険給付係まで (☎2111 内線 222)

受け付けます

小規模土地改良事業

農業基盤整備を図るための小規模土地改良事業を共同で施行される方は、5月末までに認可申請書を区長名で提出してください。

◆対象事業◆

- 事業の受益農地が1ヘクタール以上で受益戸数が5戸以上
- 農道（幅員2.5m以上）、ため池、水路、頭首工、橋梁の新設、改良、農道舗装（幅員2m以上）などの事業

○補助率は事業費の45/100以内で、事業費の上限は100万円

※昨年申請しながら認可されなかった分については再申請が必要です。認可申請が受付期限をすぎた場合は認可されません。

◎詳細については市土地改良係へお問い合わせください。

(☎2111 内線 362、382)

県営住宅入居者募集

- 募集団地 岩栗ヶ丘第三団地
- 募集戸数 3DK 8戸
2LDK 8戸

- 概算家賃
3DK 2万8,000円
2LDK 2万6,000円

- 申込受付 4月3日～13日
- 受付場所 伊万里土木事務所
- 選出方法 公開抽せん

※詳しいことは、土木事務所管理課建築係 (☎4151) へお尋ねください。

諸証明など

出張所で即時交付

4月3日から全出張所にファクシミリを設置して、戸籍や住民票の謄抄本、印鑑証明などを出張所の窓口で、即時に交付できるようにになりました。これまでのように電話で申し込む必要はありません。市民課直通の電話23局の6111番は廃止しました。

なお、駅前観光案内所での交付は4月3日から午後4時1回となります。午後2時までに市民課窓口係 (☎2111内線221) へ電話で申し込んでください。

働く人びとの職場体験記募集

- テーマ ①職場と私 ②技能に生きる ③仕事と余暇
- 原稿枚数 400字詰原稿用紙4～5枚（別紙に住所、氏名、年齢、電話番号及び職業を、職業訓練生はその旨を明記）作品は未発表のものに限る

- 応募資格 職場で働く人及び職業訓練を受けている人
- 締切り 5月8日（消印有効）
- 送付先 ①105 東京都港区芝公園1-7-6 中退金ビル
日本労働協会 「働く人びとの職場体験記」係

国民年金の保険料が 4月から8,000円に

国民年金の保険料が、今年4月から月額8,000円に変わります。

これは年金額が物価スライドにより4月分から引き上げられるのに伴い改定されたものです。年金制度は、働く若い世代がお年寄りの世代をささえる助け合いの仕組みです。

この制度を健全に運営するためには、給付と保険料の負担をバランスよく保つことが必要です。したがって、今年も年金額の引き上げとともに保険料も引き上げられることになりました。

この保険料は、前納制度がありますので利用されると便利です。今年4月中に来年3月分までの1年分を前納すると96,000円が93,680円となり、2,320円が割り引かれます。

詳しいことは、市民課年金係へお尋ねください。

(☎2111 内線215、220)

日米親善 子どもソフトボール

国際交流をすすめる伊万里青年会議所は、佐世保の米軍基地の子どもたちを招き、伊万里の子どもたちとの日米友好ソフトボール試合を行います。

皆様のご声援をお願いします。

●日 時 4月23日(日)
10時～

●会 場 立花小学校グラウンド

家庭奉仕員 採用試験

市社会福祉協議会は、老人や重度身体障害者のお世話をする家庭奉仕員を、次のとおり採用します。

▲採用人員 1人

▲受験資格 昭和19年4月1日から34年3月31日までに生まれた女性で、市内に居住し、准看護婦以上の資格を持っている人

▲採用方法 作文、面接試験と身体検査

▲採用期間 2か年

▲申込受付 4月5日～20日

▲申し込み・問い合わせ先

市社会福祉協議会

(☎2111 内線264)

危険物取扱者試験 と試験準備講習会

●種 類 甲種、乙種、丙種

●日 時 5月21日(日)
甲、乙種9時～ 丙種13時～

●会 場 佐賀西高等学校

●受付期間 4月17日～4月22日

●提出先 佐賀市内1-1-59
佐賀県消防防災課内 消防試験研究センター佐賀県支部

●問い合わせ先 市消防危険物係 (☎4311内線56、57)

※願書、案内書は、消防本部と各分署に用意しています。

※市危険物安全協会主催の試験準備講習会を試験日10日前ごろに市消防本部研修室で実施する予定です。

今月の市民相談

場所:市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

●法律	6.20(木)
●社会保険	7.14.21.28(金)
●交通事故	11.25(火)
●行政	19(水)
●人権	12(水)
●身障者	26(水)
●青少年	27(木)
●消費生活	3.10.17.24(月)
●婦人就業	5.12.19.26(水)

4月の市民会館行事

2日(日)10時と13時半 無料
ピアノ発表会(橋口京子)

9日(日)9時半 無料
ヤマハ音楽教室(中央楽器)

12日(水)18時半(子ども劇場)
人形劇「悟空誕生」 会員制

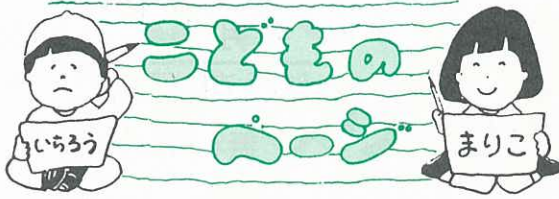
16日(日)13時 無料
音楽発表会(文化堂)



色えんぴつ

人口2,000人の小さな村も、50万都市も一律に1億円。今、全国津々浦々で「ふるさと創生」が動き出しています。例えば、国際交流や人材育成の「基金」づくりや観光開発、イベント開催など多種多様です。

1億円を使うことは簡単でも、それを生かすことは難しい。地域の活力や住民の幸せにつながる事が大事だと思います。6万市民の知恵を出し合ってこそ、伊万里を「わがふるさと」と自慢できます。首を長くして皆さんのアイデアを待っています。



黒小卒業生

タイヤとびをプレゼント

黒川小学校（丸田光也校長、355人）で卒業記念製作のタイヤとびが完成し、3月16日在校生への引き渡しが行われました。



模範とびの6年生

タイヤとびの製作は、6年生が話し合って決めたもので、卒業式に間に合うようにと、放課後を利用して急ピッチで作られました。スコップで穴をほったり、大人でもてこずるような大きな石をつるはしで小さく砕いたり、手にまめをつくりながらもみんなで頑張りました。金子



とび初めをする子どもたち

産業協黒川給油所から寄贈された古タイヤは、赤や青、黄、白のペンキできれいに仕上げられ、りっぱなタイヤとびができがりました。

6年生を代表して濱川和弘くんが、「穴ほりやペンキ塗りはたいへんでしたが、みんなで頑張りました。卒業生はあまりとぶことができませんが、皆さんはたくさんとんで体力をつけてください」とあいさつをし、模範演技に続いてみんなでとび初めをしました。

医王保育園で なわとび大会

3月17日、二里町福母の医王保育園（大宅弘海園長、51人）で、なわとび大会が行われました。

医王保育園では、昭和45年、



市が体力づくりで「なわとび」を推奨したのを機会に、毎年冬の間2～3回行われています。始めはなわとびのひもとびこすところから教えますが、子どもたちの覚えは早く、全然とべなかった園児が練習次第で急に上手になったりするそうです。

今度の大会には、3歳以上の園児40人が参加し、3回とんで1回当たりの平均回数で優

ポクは何番ぐらい？



勝を争いました。上位入賞や努力して上手になった特別賞の園児には、色紙を輪つなぎして作った手づくりの金、銀のメダルやスケッチブックなどが贈られました。

年少組では池田てつひろくんが1回平均で199回、年中組は真方きほちゃんが223回、年長組は池田まいこちゃんが176回をとんで優勝しました。